

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

生徒の皆さんに言いたいこと

全校集会や始業式・終業式で私から全校生徒の皆さんに話をする機会があるのですが、いつも時間があまりなく、きちんと伝わるように話ができていることが少ないように思います。そこで、後期の委員会活動へのお願いも含めて、第19号ではその思いを伝えたいと思います。私はいつも「西中生は少し教えてあげただけで、すぐにできる人が多い」と感じています。先生方にも常に「しっかりと教えてあげてください。今の西中生はすぐにできるようになりますから」とお願いしています。

まず1つめは、挨拶がしっかりできるようになってほしいということです。

以前、全校集会で10月に行われた阪神新人大会軟式野球大会でのあるチームの気持ちのいい挨拶について話したと思います。立ち止まってこちらの顔を見て「こんにちは」「こんにちは」と挨拶してくれ、すごく気持ちがよかったという話です。その後も準決勝、決勝と試合を見ましたが、阪神地区70数校のベスト4になる学校はすべてしっかりとした挨拶ができていました。これらの強いチームにとっては、気持ちのいい挨拶は当たり前のことになっているのです。しっかりとした挨拶ができるから強いのではなく、強いチームは必ずしっかりとした挨拶ができていくということです。よく「実力では西中の方が上なのに試合で負けてしまった」という話を顧問の先生方から聞きますが、挨拶を含めたこのあたりの差が出ているのではないのでしょうか。西中もどの部活動からでもいいです。どのクラスからでもいいです。部長や委員会が呼びかけて、今以上に相手が気持ちよくなる挨拶ができるようになってほしいと思います。



2つめは、学校をきれいにしてほしいということです。

校長先生や教頭先生が朝に掃除をしている場面

を見たことがありますか。先生はきれいな学校が好きです。学校がきれいだと、気持ちが落ち着きます。気持ちが落ち着くと、しっかりと考えたり、しっかりと勉強できたりします。そうすると、いじめもなくなりみなさんの学校生活が安全・安心で充実したものになります。これも野球の話ですが、強いチームはグラウンドを見れば分かります。常にグラウンドがきれいに整備してあり、周りには草も生えていません。もちろん溝には泥や砂もたまっています。道具やカバンは整然と並べられています。また、試合前の練習でグラウンドを使った後、スパイクでこぼこになった地面を丁寧にスパイクでならしてからベンチに下がります。きれいにすることは必ずみなさんにとってプラスに働くと思います。2年生が使う3階トイレ前には、トイレ用スリッパが揃えられているかをチェックする表が置かれています。○や◎の印が校時ごとに忘れることなくつけられています。たぶん美化委員の人がチェックをしてくれているのだと思います。だから、いつもスリッパが整然と並べられています。次に使う人が気持ちよく使える状況になっています。これは使った人1人1人の意識もありますが、委員会活動の成果でもあります。他にも各教室後ろのロッカーの鞆が整然と並べられているのも同じことだと思います。だから、委員会等で「砂を校舎内に上げない」「掃除をしっかりとやる」という取り組みもしてもらい、今以上にきれいな学校にしてほしいと思います。



3つめは、これは委員会活動とつながるかわかりませんが、前向きな考えを持ってほしいということです。

これも、この前の阪神新人大会軟式野球大会で感じたことです。決勝で、どう見ても力の差がある2チームの対決でした。強いと思われるチームが4点のリード。しかし、もう一方の力では負けていそうなチームが同点に追いつき、延長になり

ました。結局、力のあるチームが優勝したのですが、なぜ、追いつくことができたのか。私は1回からずっと力では負けていると思われるチームのベンチを見ていました。そうすると、ベンチからどの部員もグラウンドの選手に大きな声で前向きな声かけをしているではないですか。バッターには自信を持てるような「いいバッター、いいバッター」「おまえやったら絶対に打てる」など、ピッチャーには「ナイスボール」「いいコース、おいしいおいしい」などの声かけです。見ているとその言葉を聞いた選手たちは力を得て、ピンチを摘み取り、チャンスを確実に点につなげるような「神かがり的な」プレーが続出しました。たぶんこれだけではなく、普段から、目的を持って試合に生きる練習をしているのはもちろんだと思いますが・・。西中学校でも前向きで元気が出る声が行き渡る学校になってほしいと思います。きっと学校全体にいいことが起こると思います。今、体育の授業で「タイムトライアル」が始まっています。以前、長距離走が苦手な人やタイムが遅い人に、早くゴールした人や保体委員が隣に寄り添い伴走しながら「がんばれ」「がんばれ」と声をかけているシーンをよく見かけました。それ以外の早くゴールした人たちも、自分も走り終わってしんどいはずなのに、息を切らしながら「がんばれ」「がんばれ」と声をかけていました。見ていて心が温まり、すがすがしい気持ちになりました。このような心が西中の伝統として受け継がれていくことを願うとともに、学校生活の他の場面でもこのようなシーンが多々見られる学校になってほしいと思っています。

今後、西中学校がますます発展し、よりよい学校になることを期待しています。皆さん、意識して生活してください。

最後に、朝掃除をしていると背後から「いつもありがとうございます」と言ってくれる人や、立ち止まって私を見ながら「おはようございます」と挨拶してくれる生徒がいます。いつも元気よく挨拶してくれる1年生3人組もいます。本当にうれしく思います。ありがとうございます。これからも生徒の皆さんを快く学校に迎えるために、朝の掃除を頑張りたいと思います。

ホームページを適宜更新中！！

